

# 「阿波ふうど情報」 (vol.30)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファクシ 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/



阿波ふうど  
AWA FOOD

## I 「生産振興対策」情報

### ○今年も「ザーサイ」栽培始まりました！

昨年度から、板野郡上板町で試験栽培に取り組んだ「加工用ザーサイ」が、今年度は本格的な栽培に広がっています。

昨年度の試験栽培では約1tの収量(10a換算)が見込まれたことから、今年度は上板町役場やJA板野郡、県が連携して「加工用ザーサイ」の面積拡大に取り組んでいます。



センター石井での栽培

11月22日(水)には、JA板野郡本所(上板町神宅)において、実需者の「遠忠食品」を講師に、ザーサイの消費動向を学ぶ「加工用野菜研修会」の開催を計画しています。

また、ザーサイ栽培を御覧頂くため「現地研修会」の開催も計画しています。

関心のある皆様は、とくしまブランド推進機構まで、お問い合わせ下さい。

### ○「国産麦」の関心高まっています！

先日、「高畑精麦」坂出事務所の開設披露会が開催されました。

「高畑精麦」は、香川県善通寺に本社を持つ、創業129年の四国最大手の精麦・精米事業を運営する会社です。

また、香川県や愛媛県産はだか麦にスポットを当てた「讃岐はだか麦本舗」を立ち上げ、麦加工品「グラノーラ」や「焼酎」などを、大手百貨店や専門店等への販路拡大中です。



はだか麦加工品

株式会社 高畑精麦

讃岐はだか麦本舗

実需者「高畑精麦 高畑光弘社長」の声：

- ・国産麦の需要は高く、常に不足しており、生産者を探している。
- ・最近では、麦栽培と販路について徳島県(美馬地域)からの相談が多い。

「麦」や「雑穀」は注目が高まりブームとなっています。生産現場においても「麦は、水稲より単価は安いですが、手間が掛からず生産性は良い」と関心が高まっています。

引き続き、とくしまブランド推進機構も、麦類の情報収集と発信に努めて参ります。

## 「その他」実需者情報

かんしょ・・・大阪市場に関東産かんしょの入荷が増えています。

- ・なると金時の入荷が少ないときは千葉産をひいている。by: 卸の話(千葉産は、思いのほか美味しくて、安く、また腐りも少ない)
- ・気温は下がってきたが、まだ引き合いは出てきていない。
- ・本格出荷を控え売り込みが重要。(お客様を意識した販売が大切！)

☆今年度は豊作のため、前進出荷を意識して欲しい！



千葉産「ベニアズマ」

## 「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」

ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、

「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、

徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。